



ウサギとゾウ

いよいよ年の瀬、何かとあわただしくなってきました。そして平成23年はウサギ年。トラからバトンタッチです。

いま、ペットとして飼われてる中で犬や猫に次いで多いのがウサギではないでしょうか（根拠はない）。比較的飼いやすく、また人間にも慣れやすいので、ちっちゃい子たちにも人気があると思います。動物園のふれあい広場でも土曜日、日曜日などは抱っこするのに順番待ちをすることも。



大人気のふれあいウサギ

動物園ではいわゆるカイウサギ（雑種）にふれてもらっていますが、来年の干支にあわせカイウサギの中では最大の品種であるフレミッシュジャイアント（オス）を導入しました。通常のウサギは成獣で約2から3キログラムですが、今回来たのは1歳数カ月ですすでに5.5キログラムもあります。大きくなるものは10Kgに達するものもあるそうです。もともとヨーロッパで食用に改良されたものですが、その大きさからコアなファンもいるようです。大きいので動きもゆったりしてるかと思ったら、意外とすばしこく動き回ります。名前は「だいと」君とつけたのですが、意味、わかりますよね。ちなみにカイウサギの品種は世界で150種もあるそうです。

なお、だいと君は飼育員が付いていないときはふれあい広場に展示してあります（おもにヤギの脇）。飼育員が付いているときはさわることができますが抱っこはちょっと危ないのでご遠慮いただいております。



フレミッシュジャイアント登場



比べてみて

そんなちっちゃな（大きい？）ウサギに対して陸上最大の哺乳類、ゾウは最近いたずらをしています。

平成21年グランドを広げたのですがもともとのグランドと広がったほうのグランドに違いがいくつかあるのですが、わかりますか？そのひとつが堀（モートと言います）の壁面です。これまでのほうは擬岩仕上げ、広がったほうは自然の感じということで草モートとしました。しかし、この草を止めてある鉄のネットをいたずらして壊し、中の草や土を外へ出して遊び始めました。このままいくと壁全体が崩れかねないので今はそちらへ行けないようにしてあります。なにしろ200キログラムから500キログラムぐらいの丸太を軽々と持ち上げる鼻の力ですからたまったものではありません。



左側は擬岩、右側は草



遊ばれた所：右端

また、ゾウは大変好奇心が旺盛です。旺盛な好奇心と食欲が彼らにこうした行動をとらせたのかと思いますが、それだけ飼育も難しい動物ではあります。とにかくあの長い鼻であっちこっちを探っていますがそんな姿を見るのも面白いものです。



餌はないかな



落ちないでね

堀は近々修理する予定ですが、それまでゾウにもお客様にもご迷惑をおかけしますがよろしくお願いします。

(平成22年11月26日)

2010年11月26日

過去の一覧

[令和6年](#)

[令和5年](#)

[令和4年](#)

[令和3年](#)

[令和2年](#)

[令和元年](#)

[平成30年](#)

[平成29年](#)

[平成28年](#)

[平成27年](#)

[平成26年](#)

[平成25年](#)

[平成24年](#)